

令和3年3月4日

関係各位

熊本県バレーボール協会
高校部長 中島 健

諸 連 絡

- ① エントリー（18名）の変更は、大会1日目の受付までをお願いします。その後の変更はできません。
- ② コート設営は競技副委員長を中心をお願いします。
- ③ 会場使用については十分の配慮をお願いします。『来たときよりも美しく』
- ④ 高等学校が会場になっているところでは、校舎内に入らないでください。また、バスを利用されるチームは、事前に会場校の先生に連絡をお願いします。
- ⑤ 選手・役員および応援の全ての方は、駐車場・大会会場でのマナーを守らせて下さい。
- ⑥ コーチは「校長の認める当該校の職員又は外部指導者とし、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入すること」を条件とします。（生徒不可）また、マネージャーは当該校の職員・生徒のみです。（大人可）
- ⑦ 審判料の支払いは、県バレーボール協会の規定に従います。必ず受領印をご持参ください。
- ⑧ コロナ禍の大会ですので、熊本県教育委員会・熊本県高等学校体育連盟のガイドラインに準じて開催します。⑪以降の要件を設けます。趣旨をご理解頂き、運営にご協力をお願いします
- ⑨ チーム構成は、チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手18名以内とする。
- ⑩ 熊本工業会場のみ、駐車場がございません[監督・役員のみ駐車可]。他の会場は1チーム5台の駐車が可能です、各校駐車券をダウンロードしご使用ください。
- ⑪ 今大会は各チーム（部員＋保護者）35名以内の入場としました。これまで新型コロナウイルス感染症の情勢によって入場人数を決めて参りました。その旨ご理解頂きご協力ください。
- ⑫ 感染拡大防止のための必要提出書類（別紙1～3）はすべて県協会 HP あるいは JVA-MRS よりダウンロードして準備の上、各会場責任者に提出してください。
- ⑬ 会場への入場受付は、各チーム揃った上で受付を致します。運営計画の設定時間を確認の上お越しく下さい。尚、同日の保護者の入替えは不可とします。
- ⑭ JVA-MRS 新システムへの登録をできるだけ済ませて下さい。
 - 1) 県会長杯は時間の余裕なく、初めての先生もおられるので必須条件にはしておりません。
 - 2) 総体申込み時(5月中旬)には登録完了して頂きます。
 - 3) 30年度から、それまで任意であった監督・コーチ・マネージャーも登録をして頂きます。
 - 4) コロナ禍で大会の動静が流動的なので、変更その他は県協会 HP 或いはメールでの連絡になりますので、早めにご登録ください。

※◎登録時にご不明な点があれば、下記にご連絡下さい。

高校部会登録主権限者 佐伯 憲和

(熊本国府高校 TEL 096-366-1276, FAX 096-364-8544)

◎メールでのお問い合わせは、件名に「登録システム」と明記の上、下記のメールアドレスをお願いします。必ず連絡先をご記入下さい。 kva_koukoubu@yahoo.co.jp

※ その他競技規則等に変更がある場合は、大会第1日目に説明します。

熊本県バレーボール協会の公式ホームページ <http://www.kva.gr.jp/>

(裏面あり)

令和3年度熊本県バレーボール協会会長杯兼第66回全九州バレーボール総合選手権大会県予選

熊本県バレーボール協会
高校部長 中島 健

1. 大会の参加規程

(1) 部員(マネージャーを含む)の参加は、同意書(別紙1-2)を提出したものに限り、

2. 感染防止対策規定

(1) 主催者の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【主催者対策】

ア 大会当日前に37.5℃以上の発熱が3~4日続いたり、極度のせき・倦怠感などの症状があった者については大会参加を見合わせる。

イ すべての関係者(役員・審判員・補助員・顧問・部員・保護者等)に、事前の健康観察及び検温を実施させ、37.5℃以上の発熱者や体調不良者への参加を断る。

ウ すべての来場者にマスクの着用をさせ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。消毒液を会場入り口に設置する。

エ 役員及び補助員は必要最小限の人数で業務を行う。

オ 放送室、記録室が密にならないよう工夫(人数を減らす、換気をするなど)し、工夫できない場合はアナウンス等を行わない。

カ 大会で使用する施設や用具については適宜消毒を行う。

キ 会場内(トイレなど)に感染拡大防止のための表示を行う。

ク 報道各社に要請し、取材者数を最小限の人数で要請する。

ケ ゴミ処理での感染を防止するため、ゴミ箱を設置せず、すべてのごみを各自の責任で持ち帰らせる。

(2) 顧問の責任において、下記の感染防止対策を講じる 【参加校対策】

ア 顧問・部員は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表(別紙2)を提出の上、顧問は参加部員の体調管理に努める。

イ 検温の結果、37.5℃以上の熱又は体調不良(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)部員がいた場合は大会参加を見合わせる。

ウ すべての部員に、移動中やアップ、試合中以外の時間はマスクを着用させ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。

エ ミーティングなどは密集にならないよう配慮し、短時間で済ませる。

オ 水分補給は、各自で準備するなどして、コップを共用し飲み回しなどを行わないようにする。

カ 各チーム(部員+保護者)の入場は35名までを許可するので、入場者名簿(別紙2)を提出の上、会場では間隔を十分とよう指導する。さらに入場の際には、各校で検温を済ませた入場者名簿(別紙2)に記載した者の内、保護者には入館許可証(別紙3)を付けさせて入場させる。また、大声を出さないようにする。

キ バスでの移動は、過密乗車にならないように運行計画を工夫すること。

ク 顧問・選手・部員等は検温表を提出の上入場許可証は不要。但し、学校関係者もしくはその一団と分かる装いにすること。保護者は、検温表を提出の上入場許可証(別紙3)を携行させる。

(3) 主催者の責任において、下記の対策を講じる。【大会・学校・報道関係者の対策】

ア 来場した大会関係者、学校関係者、報道関係者は会場入口で感染防止チェック及び入場者名簿(別紙6)への記名を行う。また、必ず検温し、37.5℃以上の場合は入場を断る。

イ 取材は、主催者の指定の場所を基本とし、チーム関係者とメディア関係者は距離をとる。

3. 関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

(1) 大会前・期間中に関係者(部員・指導者・大会役員)から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、主催者は大会の実施を再検討し場合によっては実施を見送ったり、途中で中止したりする。尚、関係機関からの要請があった場合は、提出された個人情報を開示する場合がある。

※※新型コロナウイルス感染症の情勢により、内容の変更や大会の中止を行う場合があります。※※